



IM Compliance の計画

- 「Cisco Unified Presence IM Compliance の概要」 (P.1-1)
- 「必要な設定タスク」 (P.1-4)

Cisco Unified Presence IM Compliance の概要

- 「Cisco Unified Presence IM Compliance のコンポーネント」 (P.1-1)
- 「IM Compliance 用サンプル トポロジーおよびメッセージフロー」 (P.1-2)

多くの業界では、インスタントメッセージが、他のビジネス レコードと同じ適合認定のガイドラインに従うことが求められています。これらの規制を順守するには、ご使用のシステムがすべてのビジネス レコードを記録してアーカイブする必要があるため、アーカイブされたレコードが取得可能になっている必要があります。

Cisco Unified Presence は、単一クラスター ネットワーク構成、クラスター間ネットワーク構成、または連動ネットワーク構成における次の IM アクティビティ用のデータを収集して、インスタントメッセージング (IM) コンプライアンスに対するサポートを提供します。

- ポイントツーポイント メッセージ
- グループチャット：これには、Ad-hoc または一時チャット メッセージと、常設チャット メッセージがあります。

Cisco Unified Presence IM Compliance のコンポーネント

Cisco Unified Presence IM Compliance には次のコンポーネントがあります。

- Cisco Unified Presence サーバ Release 8.0：Cisco Unified Presence は、外部データベースへのメッセージのロギングにメッセージ アーカイブ コンポーネントを使用します。
- 外部データベース：サポートされる外部データベースの詳細については、『*Database Setup Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。
- IM クライアント：サポートされるクライアントには、Cisco Unified Personal Communicator などの Cisco クライアント、サードパーティ製 XMPP クライアント、および連動ネットワークで使用されるその他のサードパーティ製クライアントがあります。



(注)

Cisco Unified Presence IM Compliance には、基本的な IM ロギング ソリューションが用意されています。ポリシーに基づいたロギングなどの、きめ細かなロギング ソリューションを必要とする場合は、サードパーティ製のコンプライアンス ソリューションを使用します。詳しくは付録を参照してください。

関連項目

- 『Database Setup Guide for Cisco Unified Presence』
- 「サードパーティ製コンプライアンス サーバとの統合」(PA-1)

IM Compliance 用サンプル トポロジーおよびメッセージ フロー**(注)**

ここに示す外部データベース要件は、ご使用のサーバの容量により異なります。

Cisco Unified Presence IM Compliance は、コンプライアンス関連のすべてのデータを外部データベースに記録します。すべての IM トラフィックは Cisco Unified Presence サーバを通過し (Message Archiver コンポーネントを経由)、同時に外部データベースに記録されます。各 IM ログには送信者および受信者情報、タイムスタンプ、メッセージ本文が含まれます。

Ad-hoc グループ チャット メッセージは、デフォルトで Cisco Unified Presence 同じメッセージの複数のコピーを外部データベースに記録し、受信者ごとに 1 通のコピーを記録します。これにより、Ad-hoc グループ チャットでメッセージを受信したユーザが識別されます。

配置した XMPP クライアントに応じて、次の動作にも注意が必要です。

- Cisco Unified Presence は 1 通の受信メッセージを外部データベースに 2 回送信することがあります。これは、一部の XMPP クライアントが、カンパセッション内の他のパーティの完全 JID または完全アドレスを「学習する」機能をサポートしていないために発生します。そのため、XMPP クライアントはメッセージをユーザのすべてのアクティブ クライアント (ユーザが現在ログインしているすべてのクライアント) に転送し、続いて Cisco Unified Presence は、転送されたすべてのメッセージを外部データベースに記録します。
- Cisco Unified Presence は、チャットの最初のメッセージを外部データベースに 2 回記録することがあります。これは、XMPP クライアントがカンパセッション内の他のパーティの完全 JID または完全アドレスを「学習する」まで発生します。

Cisco Unified Presence が外部データベースに接続できなくなった場合でも、ユーザへの IM の送信を続行し、ユーザは引き続き (Ad-hoc) チャットルームを作成できます。ただし、外部データベースに接続していないと、Cisco Unified Presence はこれらの IM のいずれも記録せず、常設グループ チャットをサポートしません。外部データベースに接続していない場合、Cisco Unified Presence はアラームを発生します。

単一クラスタ コンフィギュレーション

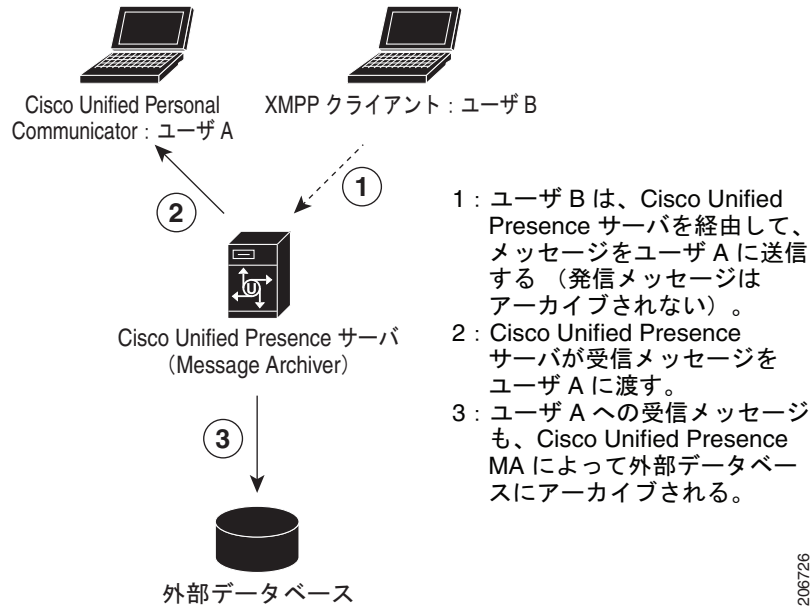
Cisco Unified Presence IM Compliance を単一クラスタで使用する場合は、クラスタ内のユーザに送信されたすべての受信メッセージのログを記録する外部データベースを、クラスタごとに 1 つ導入することを強く推奨します。

**(注)**

- IM Compliance では、クラスタごとに 1 つの外部データベースを導入することを強く推奨します。ただし、ご使用の要件によっては、クラスタごとに複数の外部データベースを設定したり、クラスタ間で 1 つのデータベースを共有することも可能です。
- グループ チャット機能を導入するには、クラスタ内のノードごとに 1 つの外部データベースが必要です。『Database Setup Guide for Cisco Unified Presence』を参照してください。

図 1-1 に、これらのコンポーネントとメッセージ フローを示します。デフォルトでは、Cisco Unified Presence IM Compliance は、受信メッセージを外部データベースに記録しますが、発信メッセージも記録するように設定できます。

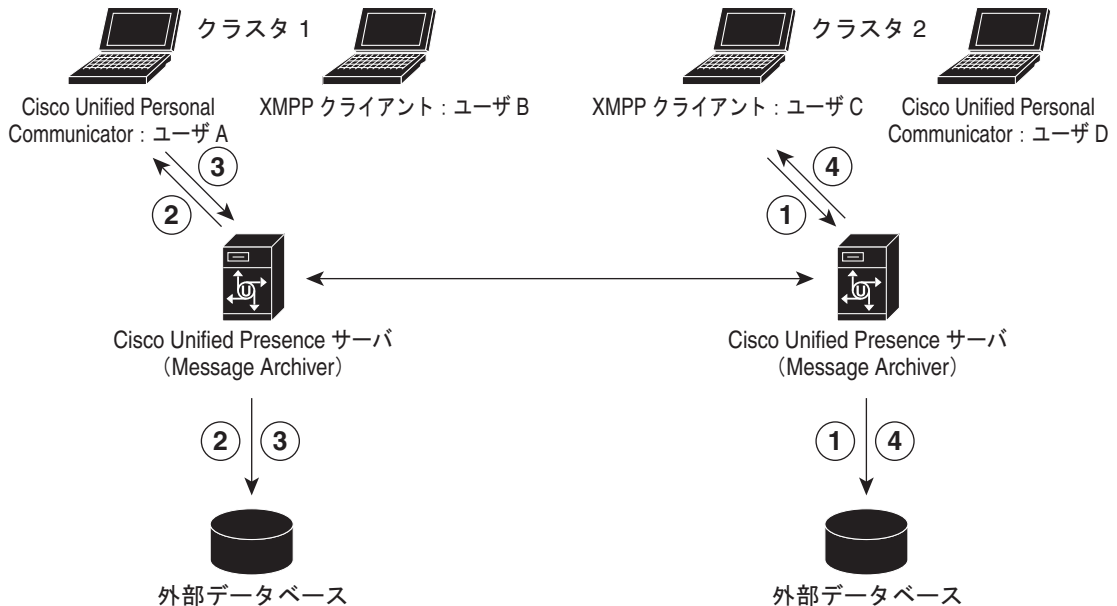
図 1-1 単一クラスター用 Cisco Unified Presence IM Compliance



クラスタ間または連動ネットワーク構成

Cisco Unified Presence IM Compliance をクラスタ間または連動ネットワーク構成で使用する場合は、クラスタごとに 1 つの外部データベースを設定する必要があります。さらに、受信メッセージと発信メッセージの両方を記録するように、Cisco Unified Presence サーバを設定する必要があります。この設定を行わないと、各データベースにはカンパセーションの片側だけが保存されます。図 1-2 に、これらのコンポーネントとメッセージフローを示します。

図 1-2 複数クラスタ用 Cisco Unified Presence IM Compliance



- 1: ユーザ C は、Cisco Unified Presence サーバ（クラスタ 2）を経由してメッセージをユーザ A に送信する。発信メッセージも、Cisco Unified Presence MA によって外部データベースにアーカイブされる。
- 2: Cisco Unified Presence サーバ（クラスタ 1）が受信メッセージをユーザ A に渡す。受信メッセージも、Cisco Unified Presence MA によって外部データベースにアーカイブされる。
- 3: ユーザ A は、Cisco Unified Presence サーバ（クラスタ 1）を経由してメッセージをユーザ C に送信する。発信メッセージも、Cisco Unified Presence MA によって外部データベースにアーカイブされる。
- 4: Cisco Unified Presence サーバ（クラスタ 2）が受信メッセージをユーザ C に渡す。受信メッセージも、CUP MA によって外部データベースにアーカイブされる。

206727

必要な設定タスク

このガイドを使用して IM Compliance を設定する前に、次のタスクを実行したことを確認してください。

- 『*Installation Guide for Cisco Unified Presence*』の説明に従い、Cisco Unified Presence サーバをインストールします。
- 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』の説明に従い、Cisco Unified Presence サーバを設定します。

- 『*Database Setup Guide for Cisco Unified Presence*』の説明に従い、外部データベースをセットアップします。

関連項目

- 『*Installation Guide for Cisco Unified Presence*』
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_installation_guides_list.html
- 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/products_installation_and_configuration_guides_list.html
- 『*Database Setup Guide for Cisco Unified Presence*』
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/products_installation_and_configuration_guides_list.html

